

令和7年度 第3回 市政モニタ一会議報告書



質疑応答の様子

新居浜市 企画部 秘書課

令和8年3月

(事業の目的)

新居浜市では、市政に関する市民の皆さんの意見をお聴きし、市政運営の参考とするために、市政モニター制度を設けています。

今回の市政モニター会議は、参加希望いただきました市政モニターの皆さんと、市長との直接対話を通じて、市政の状況などをお知らせするとともに、いただいた意見を今後の市政運営の参考とさせていただくことを目的に実施しました。

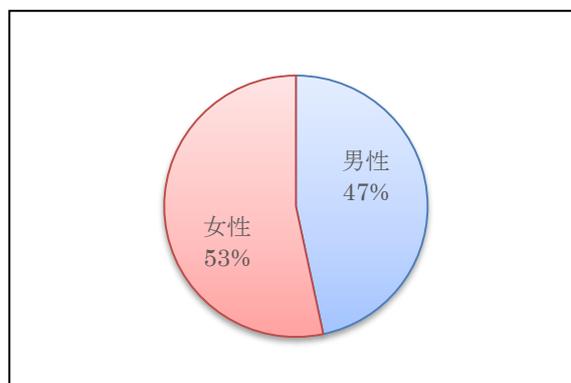
(日 程) 令和8年2月2日(月) 9:30~12:00

(場 所) 新居浜市消防防災合同庁舎 5階災害対策室

(参加者の状況)

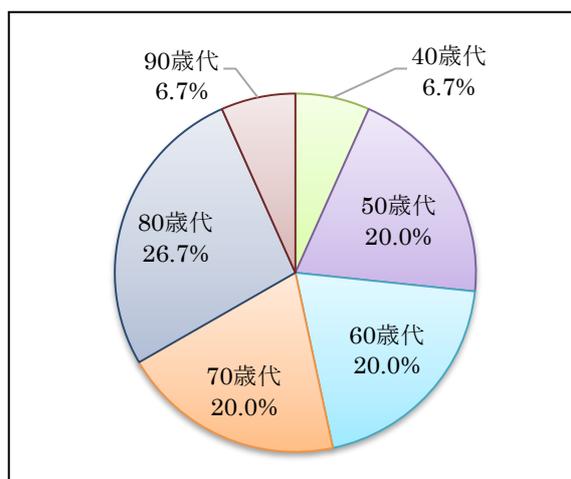
<性別>

	人数	割合
男性	7人	46.7%
女性	8人	53.3%
合計	15人	100.0%



<年代別>

	人数	割合
20歳代	0人	0.0%
30歳代	0人	0.0%
40歳代	1人	6.7%
50歳代	3人	20.0%
60歳代	3人	20.0%
70歳代	3人	20.0%
80歳代	4人	26.7%
90歳代	1人	6.7%
合計	15人	100.0%



※年齢は令和5年4月1日時点

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

(内 容)

①市長講演 「新居浜市政について」

新居浜市政について市長が掲げている目標に基づき、特に力を入れた箇所について説明。

1 観光資源の魅力発信（大阪・関西万博への太鼓台派遣）

令和 7 年 5 月 21 日、大阪・関西万博において、本市単独事業として太鼓台 3 台（口屋・岸之下・萩生東）を派遣した。

当日は延べ約 3 万 2 千人が来場し、太鼓台のかき上げ演技や体験事業（計 4 回、約 200 名参加）を実施した。

あわせて、浜っ鼓★弾★DAN によるよさこい演舞、新居浜南高等学校生徒による市 PR、新居浜ふるさと観光大使・水樹奈々氏の出演、画家・石村嘉成氏のライブドローイング等を実施し、多数の報道機関にも取り上げられた。

本事業により、新居浜太鼓祭りをはじめとする本市の魅力を国内外へ発信できたものと認識している。今後も誘客促進につながる情報発信を強化する。

2 「ちょおうさじゃ 2026」の誕生

万博出演を契機として制作された「ちょおうさじゃ 2026」が、水樹奈々氏のベストアルバム（1 月 21 日発売）に収録された。従来版にない歌詞（7 番・8 番）も含まれている。

3 七福芋のブランド化推進

希少品種である七福芋の生産拡大を目的に、大島以外での栽培を開始するとともに、市内農家と連携し白芋品種の研究を進めている。

令和 7 年度の収穫量は約 8～10 トンを見込む。

JA えひめ未来農業まつりでの販売に加え、七福芋焼酎特区の活用、ジェラート開発等により販路拡大を図る。

4 にいはま営業本部の設置

地域経済活性化を目的として、市長直轄の「にいはま営業本部」を設置した。目標額は 12 億円とする。

◇主な目的

- ・地元企業との連携強化および新規ビジネス創出
- ・ふるさと納税寄附額の増加
- ・ブランド力向上による外部資源の呼び込み
- ・職員の営業意識向上

これまで千葉県でのトップセールスや大阪府商業施設での PR 活動を実施。

今後は返礼品開発、白芋ブランド強化、物産展参加、企業訪問等を推進する。

5 市政広報テレビ番組「DonDon にいはま」の開始

令和 7 年 8 月より地上波放送を開始（毎週木曜日 21 時 54 分）。

市内の魅力、技術、市の施策を分かりやすく発信している。

番組紹介商品への問い合わせ等、一定の効果が確認されている。

6 愛媛県立新居浜東高等学校 健康スポーツ科新設

令和 7 年度、県内初の健康スポーツ科が新設された（第 1 期生 38 名）。

普通科教育に加え体育専門科目を履修。

女子第 37 回四国高校駅伝において好成績を収め、全国高等学校駅伝競走大会（都大路）へ出場（57 校中 53 位）。今後の人材育成に期待している。

7 新居浜ふるさと観光大使（10人目）

令和7年11月7日、新浜レオン氏が10人目の観光大使に就任。

委嘱式および記念行事を実施。

同氏は紅白歌合戦2年連続出場しており、本市知名度向上への波及効果を期待している。

8 新居浜ものづくりブランド事業

平成25年度開始事業。

令和7年11月末時点で43社・57製品技術を認定。

本年度は有限会社塩崎工業を認定。

今後も事業を強化し、産業都市としての発信力を高める。

9 Smart Shrink（まちの質を落とさないまちづくり）

人口減少・物価高騰等の社会情勢を踏まえ、西条市・四国中央市等と連携しながら、広域的視点で持続可能なまちづくりを推進する。

「まちの質を落とさない」スマートシュリンクを基本方針とし、「新しいにいほま」の実現を目指す。

②市長講演の内容に関する質疑応答

*いただいた質問と市からの回答（※ご質問・回答は内容を要約、編集しています。御了承ください。）

	質問	市の回答
1	<p>大阪・関西万博に参加して好評であったとのことですが、費用はいくらかかったのでしょうか。</p> <p>また、南海放送で新居浜の宣伝を行っているとのことですが、この番組について、もっと広く市民に広報すべきではないかと思えます。</p>	<p>大阪・関西万博に係る費用につきましては、全体で約5,000万円の経費がかかっております。そのうち約1,000万円につきましては、ふるさと納税や企業からの寄附により賄うことができております。</p> <p>また、「DonDonにいほま」の広報につきましては、番組の放送時間帯以外にもCMとして放送しているほか、新居浜市公式LINE、公式Facebook、市政だより、チラシなどを活用し、広報を行っているところでございます。ぜひ市政モニターの皆様からも周りの方に広めていただければと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市長）</p>
2	<p>新居浜市の人口が減少していると聞いておりますが、ピーク時と比較して現在どの程度減少しているのか教えてください。</p> <p>また、人口減少対策としてどのような取り組みを行っているのか教えてください。</p>	<p>人口につきましては、昭和50年代に約13万5,000人でピークを迎え、その後徐々に減少し、現在は11万2,000人を切っております。年間ではおおむね1,300人程度減少しており、このまま推移すると、将来的には10万人を切る可能性がございます。</p> <p>人口減少対策といたしましては、不妊治療への補助に力を入れて取り組んでおります。現在の公的負担に加えて市独自の上乘せ補助を行っており、その成果として一定数の子どもが誕生しております。</p> <p>また、昨年春からは出産されたご家庭に対し、15万円程度の出産祝い金を支給しております。来年度には、市役所南側に子ども・子育てに関する機関を集約した施設の建設を予定しており、ワンストップで対応できる環境整備を進めております。人口減少のスピードは緩やかになってきておりますが、増加に転じるまでには至っていないのが現状です。</p> <p style="text-align: right;">（市長）</p>

	質問	市の回答
3	<p>人口減少の一つの要因として、大学がないことによる若者の市外への流出が問題なのではないかと思えます。なぜ新居浜市に大学を設置しないのか教えてください。</p>	<p>大学誘致につきましては、これまでも議論がなされてきましたが、過去には市内に短期大学があり、最終的には学生が集まらず閉校となった経緯がございます。</p> <p>現在、市内には高専があり、高校や専門学校もございます。今ある教育機関を大切にし、伸ばしていくことが、新居浜市に合ったやり方であると考えております。</p> <p>今治市の獣医学部のように、そこでしか学べない特色ある学部であれば可能性はあると思えますが、経済学部や法学部、文学部などでは、学生確保が難しいのではないかと考えております。実際に看護学校などでは定員割れも始まっており、まずは既存の教育環境を重視していきたいと考えております。</p> <p>(市長)</p>
4	<p>今後、市長には内容や形のあるものを残していただきたいと考えております。</p> <p>その中で、担当課から「お金がない」との話をよく聞きますが、財政調整基金の推移を教えてください。</p>	<p>財政調整基金につきましては、市の財政運営の根幹に関わる重要なものであり、一般家庭でいう普通預金のようなものと考えております。</p> <p>私が就任した直後は非常に厳しい状況で、一時は基金が一桁台まで減少したこともございました。本来であれば新居浜市の規模として50億円程度は必要であると考えておりますが、急激に積むことは既存の多くの事業を廃止にする必要があるなど、大きなしわ寄せを生むことにつながりますので、当面の目標としては30億円を目指しております。</p> <p>現在は20億円に近づいておりますが、人件費等の高騰により、当初予算編成時には一時的に減少する可能性がございます。急激に積み増すのではなく、計画的かつ緩やかに回復させていきたいと考えております。</p> <p>(市長)</p>
5	<p>新居浜市を今後発展させていくためには、観光による振興が重要であると考えます。</p> <p>また、スマートシュリンク（賢く縮む）において、高齢者がどのように関わっていけるのか教えてください。</p>	<p>観光につきましては、新居浜市として弱い分野であると認識しております。そのため、新浜レオンさんをはじめとする観光大使の方々を活用しながら、取り組みを進めております。</p> <p>現在は、海外からのインバウンド誘致、とりわけゴルフツーリズムに力を入れており、松山まで来られた観光客に、もう一歩足を延ばして新居浜市を訪れていただけるよう、海外の旅行業者と商談等を行っております。</p> <p>一方で、観光は来訪者が増えても、必ずしも地域経済に結びつきにくい面があるため、適正価格の設定など、地域にお金が落ちる仕組みづくりが重要であると考えております。</p> <p>スマートシュリンクにつきましては、防犯灯など身近な生活環境において、一部ご負担をお願いする場面も想定されます。自分の都合を主体とするのではなく、まちづくり全体を主体と考えていただく視点が重要であると考えております。</p> <p>(市長)</p>

・モニター意見発表

*いただいた意見と市からの回答（※御意見・回答は内容を要約、編集しています。御了承ください。）

	質問	市の回答
1	<p>【行財政運営関係】</p> <p>財政について伺います。市の施策を進める上では財政が重要だと考えています。文章を読んでいると「財政調整基金」が出てきますが、その金額の推移と、新居浜市として適正と考える金額はどの程度なのか教えてください。現在、予算が厳しいと言われてるのは、この基金が少ないためではないかと感じています。また、今後どのような方法で確保していくのかを教えてください。</p>	<p>財政調整基金は、平成30年度に約40億円ありましたが、その後年々減少し、令和4年度には約13億9千万円まで減少しました。その後は若干回復し、令和6年末現在では約16億3千万円となっています。</p> <p>災害対応等を考慮すると、本市としては30億円から50億円程度の確保を目標としており、当面はまず20億円、その後30億円の確保を目指して取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>社会保障関係経費や人件費の増加、物価高騰による物品費、光熱費、建設費の上昇などが続いている一方で、税収は増加しているものの物価上昇に追いついていないのが現状ですが、基金確保の手法としては、各担当課で事業の精査と優先順位付けを行い、収入に見合った支出となるよう調整し、決算時に基金へ積み立てられるよう努めています。</p> <p style="text-align: right;">（企画部長）</p>
2	<p>【行財政運営関係】</p> <p>市政モニターの活動に、パブリックコメントへの意見提出を加えてはどうでしょうか。現在の活動内容では、市政運営の参考になっているとは感じにくい部分があります。特に、パブリックコメントは提出件数がゼロの案件も多く、市民の理解が進んでいないように思われます。市政モニターが関わることで、より多くの市民意見が政策に反映されるのではないのでしょうか。また、中立的な機関による意見の整理も検討できないのでしょうか。</p>	<p>市政モニターの皆様からいただくご意見やアンケート結果は、各種計画策定や施策改善の参考として活用しています。</p> <p>ご提案のパブリックコメントを必須活動とすることについては、市民意見の重要性は認識していますが、モニターの皆様の負担が大きくなるおそれがあるため、現時点では必須とは考えていません。</p> <p>今後はパブリックコメント制度の趣旨や実施情報をより分かりやすく伝え、市政モニターの皆様にも任意の活動として可能な範囲での協力をお願いしていきたいと考えています。</p> <p>また、中立的な審査についても、今後検討していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">（企画部長）</p>
3	<p>【行財政運営関係】</p> <p>市役所の上部支所・川東支所の閉鎖は、経費節減の観点から市民にとって喜ばしいことであり、削減分を市民に還元してほしいと思います。一方で、市役所内にはまだ無駄や疑問を感じる点もあります。その一つとして、1階東西の受付周辺に多数の案内係が配置されているが、受付が十分に機能しているのか疑問が残ります。</p> <p>また、今後のデジタル化の進展により、市職員数は増加するのでしょうか、減少するのでしょうか。</p> <p>そして、2支所廃止によるメリット・デメリットおよび削減された経費</p>	<p>市民課待合フロアには1～2名のフロアマネージャーを配置しており、来庁者の案内・誘導、問い合わせ対応、混雑状況の管理などを行い、市民サービス向上を目的としています。混雑時には、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付機の案内も行っています。</p> <p>2支所の廃止により、勤務していた職員10名を他部署に配置転換したため、人件費の削減効果がありました。一方、支所での窓口業務ができなくなったため、市民の利便性低下がデメリットとしてありますが、コンビニ交付や郵便局でのマイナンバーカード更新受付などで対応しております。</p> <p style="text-align: right;">（市民環境部長）</p> <p>受付は正面玄関と東入口に設置しており、利用の多い東入口では月約1,000人の案内対応を行っています。平成27年のフロア改修時に、庁内案内の円滑化と各課の負担軽減のため、東側受付を設置いたしました。デジタル化やAI活用の可能性も検討</p>

	質問	市の回答
	<p>を教えてください。</p>	<p>していますが、現段階では人による対応が必要と考えています。</p> <p style="text-align: right;">(管財課長)</p> <p>デジタル化の進展により、長期的には職員数を抑制していく方向になると考えてはいますが、市民ニーズの多様化や専門性の高度化により、短期間で大幅に削減することは難しいと考えています。適正な職員管理を継続してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>
4	<p>【子育て・教育関係】</p> <p>数年来、学校給食費が無償化になると聞いてきましたが、なかなか実現せず、いつ実現するのかと思っていたのですが、この質問を提出した後に来年度4月から実現するという話を聞きました。</p> <p>その一方で、市の給食費が上がるという告知がありました。小学校の給食費無償化は来年度からということで安心しておりますが、中学校の無償化はどのくらいの目途で実現するのかを教えてください。</p>	<p>給食費無償化の前に、学校給食費の現状についてご説明します。</p> <p>現在の給食費は1食あたりで、小学校が290円、中学校が330円となっております。ただし、保護者の方には小学校が260円、中学校で300円をご負担いただいております。この30円の差額につきましては、市が国の交付金等を活用して負担しております。物価高騰等の影響により、給食費を令和6年度に改正しましたが、少しでも保護者負担を減らしたいということで、市が負担しているものです。</p> <p>給食費は、実際のところ食材費であり、調理員の人件費や光熱水費、施設の維持管理費は含まれておりません。その経費を含めると、1食あたりの金額はさらに高くなります。令和6年度の値上げ以後も、米を中心とした食材費の高騰が続いており、栄養士や調理員も工夫と努力を重ねていますが、現状の食材費を踏まえると値上げをせざるを得ない状況です。</p> <p>そのため、令和8年4月から小学校は330円(40円増)、中学校は380円(50円増)とさせていただくこととなりました。</p> <p>ただし、保護者の方の負担については、国からの支援を活用し、軽減を図る方向で現在検討しております。</p> <p>学校給食の無償化については、ご質問のとおり、小学校段階での抜本的な負担軽減、いわゆる給食費無償化が実施される予定であると国から方向性が示されております。</p> <p>その際の給食費は、月額5,200円、1食あたり約300円とされており、現在の給食費との差額約30円を、保護者負担とするのか、市の負担として実質無償化とするのかについては、現在検討中です。</p> <p>中学校給食についても、昨年2月の三党合意において「できるだけ速やかに無償化を実現する」とされており、国の支援を期待しておりますが、現時点では具体的な方向性は示されていません。</p> <p>ただし、値上げ分についての保護者負担軽減は検討しております。</p> <p>国の方針が示されたのが12月下旬であり、制度の詳細もこれからとなりますので、国の動向を注視しつつ、市の負担についても議会の理解を得ながら検討し、決定次第、速やかに保護者や学校へ周知してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局長)</p>

	意見	市の回答
5	<p>【子育て・教育関係】</p> <p>① 小学校合併について 新居浜小と宮西小の合併について、いつ頃予定なのか、本当に合併するのか、同規模であるためどのような形で合併するのか、場所はどこになるのか、現段階で決まっていることや、地元住民への説明について教えてください。</p> <p>② 公民館について 昨年今頃、市長メールで公民館への防犯カメラ設置を要望しましたが、その後どうなっていますか。現在の社会情勢を考えると、公共施設には必要だと思います。</p>	<p>① 小学校合併について 新居浜小学校と宮西小学校の統廃合については、令和5年策定の「新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画」において、令和19年度までの前期計画期間中に新小学校の設置を検討することとされています。</p> <p>出生数の減少により、両校とも全学年1クラスとなっており、通学可能な距離にあることから、規模適正化検討基準に該当します。</p> <p>昨年は北中学校区学校運営協議会で説明を行い、今年度は宮西校区のまちづくりタウンミーティングでも説明を行いました。</p> <p>昭和54年頃には両校合わせて1,258人いた児童数が、令和6年には331人となり、約4分の1まで減少しています。</p> <p>今後は保護者、自治会、各種団体など、地元住民の皆様への説明の場を広げていく予定であり、統廃合の時期や場所などの詳細は、今後の協議の中で決定していきたいと考えています。</p> <p>② 公民館について（教育委員会事務局長） 防犯カメラは盗難等への抑止力になる一方、設置に対して拒否感を持たれる方がいるのも事実です。</p> <p>市長メールを受け、館長会で協議しましたが賛否があり、結論には至らず、各公民館運営審議会で議論していただくようお願いいたしました。公民館は学び・憩い・集いの場であり、災害時の避難所でもあります。</p> <p>防犯意識の高まりと同時に、個人情報・プライバシー保護の観点も重要であるため、設置する場合は適切な管理ルールが必要です。該当の公民館にあらためて審議会での協議をお願いし、地域の意見がまとまりましたら、設置に向けて一緒に検討していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局長）</p>
6	<p>【観光・経済関係】（文書回答） マイントピアの銭湯の値上げによる苦情が多く、設備の不備等をどう考えているのか。 温度の調節等の管理不足が多いと書かれるのは問題ではないか。 また、別子山の金銭問題等はどうか。協力隊等についても教えてください。</p>	<p>別子温泉～天空の湯～の料金値上げについては、利用者の皆様にご負担をお願いする形となり、ご不便をおかけしております。</p> <p>しかしながら、昨今の物価高騰や最低賃金の引き上げに伴う人件費の増加は現在も続いており、施設の継続的な運営のためにも、ご理解をお願いしたいと考えております。</p> <p>設備につきましては、故障等が発生した場合には早急に対応できるよう努めておりますが、温度調整などの日常管理については、管理者と協議のうえ、適正な管理を行ってまいります。</p> <p>また、別子山支所における事業費等の各予算については、新居浜市会計規則等に基づき、適正に執行しております。</p> <p>令和7年11月末に任期満了を迎えた地域おこし協力隊員につきましては、現在も地域に定住しております。</p> <p style="text-align: right;">（観光物産課・別子山支所）</p>

	意見	市の回答
7	<p>【道路・建設関係】</p> <p>小学生の通学路にカーブミラーが設置されていない箇所があり、道路課に相談したところ、土地所有者の許可をもらってきてほしいと言われました。</p> <p>しかし、直接お願いしても許可が得られないこともあります。</p> <p>市が説明してくれれば許可も得やすいと思いますので、カーブミラー設置要望時に必要となる地主の許可については、市が動いてもらえないでしょうか。</p>	<p>カーブミラーの設置要望は、年間を通して非常に数多くの件数が寄せられています。</p> <p>本来、カーブミラーは山道など見通しの悪いカーブに設置し、安全を確保するための施設であり、交差点での設置は補助的な役割となります。また、設置することによって通行の支障となる場合や、見え方によっては死角が生じ、事故につながる可能性があります。ミラーに住宅が映り込むことで、近隣から苦情が出ることもあります。</p> <p>交差点では一旦停止し、徐行することが原則であるため、カーブミラーはあくまで補助施設の位置付けです。</p> <p>そのため、地域の必要性として自治会等地域住民の方から要望書を提出いただき、設置の可否を判断した上で、順次設置しているものでございます。設置箇所または隣接地の地権者の同意については、自治会等で取りまとめていただく運用としており、市が直接介入することの是非についても課題があると考えています。</p> <p>あくまで強制的に設置するものではなく、地域の必要性に基づくものとして、まずは地域から申し出ていただくことをお願いしていますが、運用方法については今後も検討していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">(建設部長)</p> <p>個別の箇所ごとの判断になると思いますので、まずは道路課と直接相談していただき、状況を確認した上で判断するのが良いと思います。件数的に市がすべて直接説得に行くのは難しい面がありますが、一度相談してもらえればと思います。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>
8	<p>【道路・建設関係】</p> <p>身近に空き家が増えており、今後さらに増加するのではないかと不安に思っています。</p> <p>相続がきちんとなされていない空き家の場合、相続権利者が多数いたり、遠方に住んでいる場合の税金はどのように請求されるのでしょうか。</p> <p>名義が何代も前のままの場合や、連絡先が分からない場合はどうなるのでしょうか。</p> <p>また、今後増える空き家に対して、市では解体補助などどのような施策を考えていますか。</p>	<p>空き家は増加傾向にあります。</p> <p>固定資産税については、所有者が亡くなられた場合、相続人の中から代表者を選んでいただき、現所有者(相続人)である旨の申告書を提出していただき、その方に納税通知書を送付しております。</p> <p>申告がない場合は、市が相続人を調査し、その相続人に納税通知書を送付します。</p> <p>令和6年4月からは、相続を知った日から3年以内に登記を行うことが義務化され、違反した場合の罰則も設けられました。</p> <p style="text-align: right;">(課税課主幹)</p> <p>市では建築指導課に空き家対策班を設置し、相談内容に応じて関係課と連携しています。</p> <p>空き家解体については、老朽化して危険な空き家を対象に、補助限度額80万円、補助率80%で解体補助を実施しています。</p> <p>補助件数はこれまで年間10件程度でしたが、令和8年度は15件に増やす予定です。</p> <p>空き家は個人の財産であるため、相続人による適正管理が求</p>

	意見	市の回答
		められますが、法制度の変化も踏まえ、今後も継続的に取り組む必要がある課題だと考えています。 (建設部長)
9	<p>【道路・建設関係】 (文書回答)</p> <p>原付で走行すると、白線の外側がガタガタで危険な箇所が多く、特に新居浜駅付近の高架下など走りにくい道路が多いと感じます。</p> <p>主要道路を中心に、走りやすい道路整備をお願いしたいです。</p>	<p>舗装補修については、緊急性や危険度の高いものを優先して実施していますが、市道延長が約500kmあり、老朽化により補修要望が増加しています。</p> <p>今後も現地確認のうえ、工事費や事業効果、要望年度等を踏まえて優先順位を判断してまいります。</p> <p>高架下道路については、道路管理者である愛媛県に内容を伝えており、現地確認後、損傷の著しい箇所から補修や舗装工事を進めるとの回答を得ています。</p> <p>(道路課)</p>
10	<p>【地域・市民生活関係】</p> <p>東予地方、新居浜あたりで地元の方との出会いの場を設けられないでしょうか。</p> <p>松山や県外のイベントに行くと、新居浜市民と出会うことも多く、市内で開催してほしいと感じます。</p> <p>大規模な婚活イベントを新居浜市で実施すれば、経済効果も期待できると思います。</p>	<p>現在、新居浜市では年3回、30～50人規模の婚活パーティを実施しています。</p> <p>ランチパーティや軽スポーツなど、話しやすい雰囲気づくりに取り組んでいますが、大規模イベントは実施した実績が少なく、最大で100人規模となっています。</p> <p>えひめ結婚支援センターとも連携し、今後の在り方を検討していきたいと考えています。</p> <p>(市民環境部長)</p>
	<p>年齢によって参加できるイベントが限られたり、スポーツイベントでは会話が弾まないこともあります。</p> <p>香川や徳島からも参加しやすい立地なので、広域的な集客を意識してほしいです。</p>	<p>本日いただいたご意見を参考に、今後の取り組みについて担当課と相談してまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>(市民環境部長)</p>



©NPO 法人新居浜まちゆり隊

	意見	市の回答
11	<p>【施設・まちづくり関係】</p> <p>文化センターは耐用年数 65 年を迎え、令和 9 年度に閉館予定と聞いている。市民にとって文化センターは非常に重要な施設であり、老朽化に伴う建替えについて今後の見通しをお伺いします。</p> <p>昭和の時代には東予唯一の大ホールとして多くの著名な芸術家を招いてきましたが、現在は他市のホールに出向くことが多くなり、地元で質の高い芸術文化に触れられないことを寂しく感じております。生の音がよく響く音響の良いホール、ユニバーサルデザインで誰もが感動を共有できる施設を次世代に引き継いでほしいです。補修・改修という選択肢もありますが、50 年、60 年先を見据え、思い切って新築し、未来の新居浜市の芸術文化を支える施設整備を進めてほしいと思います。今後の市の見通しを教えてください。</p>	<p>市民文化センターは令和 9 年に耐用年数 65 年を迎えることから閉館を想定してきましたが、人口減少や物価高騰などの社会情勢を踏まえ、現在、施設の在り方について再検討を進めているところでございます。</p> <p>今年度実施した建物調査では、今後おおむね 10 年間は使用可能との結果が出ておりますが、トイレやステージなど老朽化が進んでいる箇所もあり、改修を含めた使用可能期間を検討しているところです。</p> <p>令和 10 年に開催予定の国民文化祭までは現施設を使用し、その後については施設調査結果と財政状況を踏まえ、慎重に検討した上で、早期に方向性を決定したいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">(文化スポーツ局長)</p>
	<p>数年前には建替えへの期待の声を多く耳にしておりましたが、最近では不安や失望の声も聞かれます。市民の関心は高いため、先を見越した施設、特に音響の良いホールを残して欲しいと思います。</p>	
12	<p>【施設・まちづくり関係】</p> <p>あかがねミュージアムの駐車場は、あの施設の駐車場しかないのでしょうか。</p> <p>演奏しに行った場合、車の置き場がなく思い楽器を運ぶのに困っています。周囲に他の駐車場はありますか。</p>	<p>現在、施設として保有しているのは南北の駐車場になります。</p> <p>ただし、イベント時には演者の方に地下駐車場を使用していただくこともありますし、臨時駐車場として駅南の公営駐車場や保健センターの駐車場を用意する場合があります。</p> <p style="text-align: right;">(文化スポーツ局長)</p>
	<p>受付に駐車場の場所を示していただける案内があると助かります。</p>	<p>施設にご意見をお伝えいたします。</p> <p style="text-align: right;">(文化スポーツ局長)</p>

	意見	市の回答
13	<p>【行財政運営関係】</p> <p>今年度の市政モニターの施設見学会の際、清掃センターの建て替えを見据えた積立は行っていないと聞きました。</p> <p>市の経営をどのように考えているのかお伺いしたいと思います。</p>	<p>民間の経営感覚を持つべきだというご意見は、行政運営においてもよく言われますが、実際には難しい面もあります。例えば、ごみ焼却炉のランニングコストや、その後の建設費用まで含めて考えた場合、どこまで処理費用に転嫁できるかというのは簡単ではありません。</p> <p>現在、県内では松山市、新居浜市、四国中央市のみがごみ袋の有料化を行っておらず、仮に費用確保のために有料化を進める場合には、市民の皆様と多くの議論を深めることが必要不可欠になります。受益者負担との調整は非常に難しい問題です。将来にわたりまちを維持していくためには、財源の確保が何よりも重要であり、財政状況をしっかり整えていく必要があると考えています。来年度からは、特に新居浜市が弱い分野であるふるさと納税に力を入れ、税收確保に努めていきたいと考えています。そのほかにも税收確保の手段を検討し、できる限り市民の皆様に負担をかけない形で進めていきたいというのが私の思いです。</p> <p>(市長)</p>
	<p>公共施設を建て替える場合、すべてゼロからのスタートになるのでしょうか。</p> <p>施設によっては積立があるのでしょうか。建て替え資金の捻出については、どのように考えていますか。</p>	<p>施設によって異なります。</p> <p>積立を行っている施設もあれば、行っていない施設もあります。</p> <p>美術館や図書館などについては積立を行っています。</p> <p>ただし、一般家庭で家を建てる際も、すべて自己資金で賄うのではなく、頭金を入れて住宅ローンを組む場合が多いと思います。</p> <p>公共施設についても同様で、積立だけで建て替えるわけではありません。若干の蓄えはありますが、昨今の建設費高騰を考えると、かなり厳しい状況だと認識しています。</p> <p>そのため、しっかりと見通しを立てて進めていかなければならないと考えています。</p> <p>(市長)</p>
14	<p>【行財政運営関係】</p> <p>人口減少について、新居浜市の人口も減少傾向にあります。市職員の数についてはどのように考えていますか。</p>	<p>住民ニーズは多岐にわたり、専門性・高度化も進んでいるため、すぐに職員数を減らすことは難しいと考えています。一方で、テクノロジーの活用などにより、将来的には人口規模に応じて、少しずつ職員数を減らしていきたいと考えています。</p> <p>(市長)</p>
15	<p>【観光・文化関係】</p> <p>新居浜太鼓台を世界に向けて発信していただいておりますが、先日のお祭りでは喧嘩が発生しました。こうした負のイメージも世界に発信されてしまうことになりませんが、その点についてはどのように考えていますか。</p>	<p>大多数の市民は平和運行を望んでおり、暴力や喧嘩については排除していかなければならないと考えています。</p> <p>今回も関係企業、警察、市が一体となって平和運行を訴えていましたが、残念ながら結果として喧嘩が起きてしまいました。</p> <p>しかし、これで諦めるのではなく、引き続き平和運行の訴えを続けていきたいと考えています。より効果的な方法についても、今後検討していく必要があると考えています。</p> <p>(市長)</p>

	意見	市の回答
16	<p>【シティプロモーション関係】</p> <p>十河信二国鉄総裁について、市としてどのような取り組みをされているのか教えてください。</p>	<p>十河信二さんに関する取り組みとしては、NHK 朝ドラ誘致の署名活動を行い、11万人を超える署名が集まりました。</p> <p>また、四国新幹線の話とも絡めながら、取り組みを進めていきたいと考えています。</p> <p>(市長)</p>
17	<p>【子育て・教育関係】</p> <p>中学校では運動部に所属していましたが、高校で別の競技に挑戦しようとしたところ、経験者でないと受け入れられないと断られたと聞きました。</p> <p>東高に健康スポーツコースもできており、ぜひ子どもたちに幅広い挑戦の機会を与えてほしいと思います。</p>	<p>私の方にも、そのような話は届いています。</p> <p>続くかどうかは本人次第ではありますが、受け入れ自体を拒否するのは好ましくないと考えており、その旨は既に高校側にも伝えていきます。</p> <p>部活動やスポーツを通じて、子どもたちが健やかに育つことは非常に大切だと考えています。</p> <p>もし同様の話を耳にされることがあれば、ぜひご相談いただければと思います。</p> <p>(市長)</p>

・市長あいさつ



©NPO 法人新居浜まちゅり隊

(参加者アンケート)

市政モニター会議に参加いただいたモニターの皆さんに、感想やご意見をうかがい、今後の参考とするためにアンケートを実施しました。

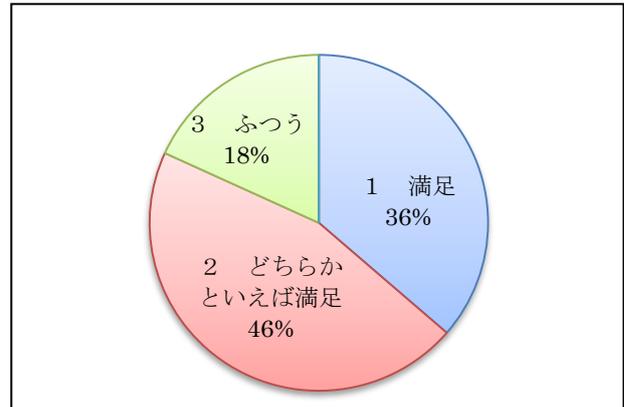
<アンケート概要>

調査対象者	第3回市政モニター会議参加者 15人
調査期間	会議実施日～令和8年2月16日(月)
調査方法	会議実施時にアンケート用紙を配布し、後日郵送で提出
回収数(率)	11人(73.3%)

<調査結果>

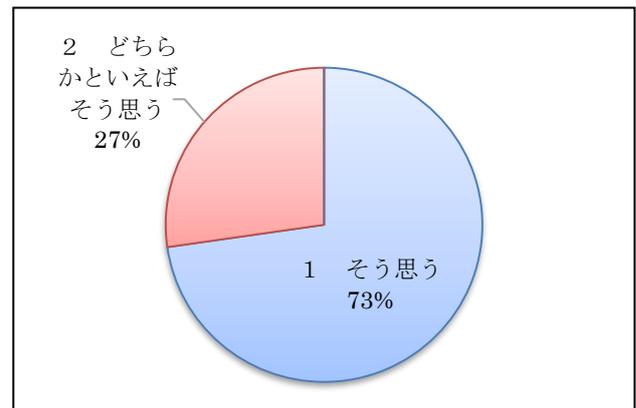
Q1. 今回の市長講演や意見交換の内容について、5段階の満足度でお答えください。(1つ選択)

1. 満足	4人
2. どちらかといえば満足	5人
3. ふつう	2人
4. どちらかといえば不満	0人
5. 不満	0人
合計	11人



Q2. 今回の意見交換会に参加して、市の取り組みに対する理解や関心が高くなったと思いますか。(1つ選択)

1. そう思う	8人
2. どちらかといえばそう思う	3人
3. どちらかといえばそう思わない	0人
4. そう思わない	0人
合計	11人



Q3. 今回の意見交換会に参加しての感想やご意見を自由に記入してください。また、今回の意見交換会で発表できなかった、市政へのご意見、ご提言がありましたら記入してください。(自由記入)

たくさんの感想やご意見をいただき、ありがとうございます。いただきましたご意見・ご提言につきましては担当課にもお伝えし、今後の行政運営に活用させていただきます。本報告ではその一部を紹介します。

1 【会議についての感想・市政モニター制度について】

- ・市長より、地産のブランド化、ものづくり、人・モノ・カネの循環、2060年に向けた財政基金20億円～30億円の目標、観光によるまちの発信、南海放送での番組放送、健康スポーツ科の新設、人口減少対策（市外流出の抑制）などについてお話がありました。目標は高く、私たち一人ひとりに関わる重要な課題であると感じました。
- ・人口減少に伴い空き家問題も増加することが想定されます。現在の年間8～10件程度の補助制度について、さらなる活用や拡充の可能性も含め、今後の取組に期待したいと思います。関わってくださった職員の皆様、ありがとうございます。
- ・十河氏のドラマ化に関連して、脚本家・鴻上尚二氏のお名前も挙がっており、今後の展開にも期待しております。
- ・市長からは新居浜市の将来展望や少子化対策について簡潔で分かりやすい説明がありました。市政モニターからは身近な課題について多様な質問や要望が出され、有意義な機会であったと感じます。すぐに解決できる課題と時間を要する課題があると思いますが、今後とも前向きな市政運営を期待いたします。
- ・昨年に続き2回目の参加でした。意見交換会という形式上、限られた時間の中での進行となるため、さらに深い議論ができる場があればより充実するのではないかと感じました。
- ・初めて参加させていただきましたが、市長をはじめ職員の皆様の真摯で熱心なご対応に感心しました。参加してよかったと思います。質疑応答は個別具体的な内容が中心であったため、施策全体の方向性についても質問できる時間があれば、なおよかったと感じました。次回参加の機会があれば、自分の考えをより具体的にお伝えできればと思います。
- ・市長と直接意見交換できる機会は大変貴重であり、光栄に感じました。質問への説明も分かりやすく丁寧でした。一方で、より具体的な内容や踏み込んだ説明が聞ける場面もあれば、さらに理解が深まると感じました。
- ・意見交換の進行については、限られた時間の中で多様な意見を取り上げる工夫があれば、さらに充実するのではないかと感じました。事前提出意見の整理やテーマ設定なども一案かと感じます。
- ・昨年に続き参加しましたが、市長2年目ということもあり、お話はより分かりやすく、積極的にご自身の言葉で語られている印象を受けました。市政課題の解決には財政面や人口減少対策が大きく関わることを改めて実感しました。
- ・初めて参加しましたが、大変勉強になりました。市長が様々な分野で精力的に活動されていることがよく分かりました。

2 【市政へのご意見・ご提言】

- ・文化センター建て替えについては、令和10年の国際文化祭まで活用しつつ、早期に計画を進めるとのことでした。決定までの時間が限られていると思われしますので、多くの市民の声を丁寧に反映し、新居浜市にふさわしい文化施設となるよう期待します。また、検討経緯や結果についても

分かりやすい公表をお願いしたいと思います。

- 給食費無償化については様々な考えがあると思いますが、量や品質を維持する観点から、必要な財源確保とのバランスも大切であると感じています。
- あかがねミュージアム周辺の駐車場について、イベント時に不足を感じました。県外からの来訪者にも分かりやすい案内表示や駐車場確保の工夫をお願いしたいと思います。
- 子育て世代への支援は充実していると感じますが、今後は若い世代が定住できるよう、企業誘致や雇用の確保も重要ではないかと感じます。
- スマートシュリンクの考え方が、市民生活を圧迫することなく、柔軟性のある市政運営につながることを期待しております。貴重な機会をありがとうございました。

～ご協力、ありがとうございました～